

厚生労働科学研究費補助金(長寿科学政策研究事業)
「医療および介護レセプトデータ分析による
在宅医療・介護連携推進のための適正な評価指標等の提案のための研究」
令和5年度 分担研究報告書

**在宅医療・介護連携推進事業の推進に向けた人口規模別の4つの場面ごとの取り組み
の特性と事業アウトカム把握のための住民意識調査項目の検討**

研究分担者 大野賀政昭 (国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部)
研究分担者 山口佳小里 (国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部)
研究分担者 柴山志穂美 (神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター)
研究分担者 中西 康裕 (国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部)

研究要旨

研究目的：社会保障審議会介護保険部会（2022）では、地域の実情に応じ、在宅医療・介護連携推進事業の取組の充実を図りつつ、PDCA サイクルに沿って運用することが重要であることが指摘されている。しかし当該事業の令和4年度の実態調査(株式会社富士通総研2023)を分析した結果、人口規模によって事業実施やデータ活用に差があることが明らかになった。今年度は、令和5年度調査のデータを活用した二次分析を通じて4つの場面ごとの取り組み状況の把握を行うとともに、一般市民を対象とした在宅医療にかかわる意識調査を実施・分析し、当該事業のアウトカム把握のための住民意識調査項目を検討した。

研究方法：令和5年度在宅医療・介護連携推進支援事業で収集された市町村調査データ(回収数 1,714)を用いて二次分析を行った。分析対象項目は、4つの場面ごとの取り組みの有無、目指すべき姿の設定、目標設定、指標の策定、実施していない場合の課題とし、これら項目について人口規模(人口の値を用いた5分位)ごとに集計を行った。在宅医療にかかわる意識調査については、インターネットモニターを用いて、年齢区分ごとに偏りのないように割付を行い、調査を実施した(回収数 1,240 例)。先行研究より設定した在宅医療に対する4つの場面にかかわる意識15項目と、アウトカムとして想定した主観的幸福感と主観的健康感に係わる2項目の相関係数を算出し、これら項目間の関連性を検討した。

結果と考察：委託事業データの二次分析の結果、4つの場面ごとの取り組みは、入退院支援 82.3%。日常の療養支援 73.2%、急変時の対応 52.3%、看取り 69.0%であった。4つの場面ごとの目指すべき姿の設定は 48.8%～43.1%、目標設定は 33.3%～31.7%、評価指標の策定は 22.1%～17.7%であった。また、在宅医療4場面ごとの実施できていない場合の理由のうちで多かった現状把握と課題抽出をあげる割合は人口規模が大きくなるほど高まっていた。在宅医療にかかわる意識調査結果の分析からは、地域住民の在宅療養や看取りに対する意向間の関連について、家族の在宅療養について賛成である群のほうが、家族の看取りにも賛成の意向が強く、在宅療養や退院後の生活に対する不安が小さい傾向が示された。また、在宅療養や退院後の生活に対する不安の有無別に、他の項目の状況を見たところ、自身の在宅療養や退院後の生活への不安がある群の方が、家族の在宅療養への不安もまた大きく、在宅療養へのサポートの必要性を強く認識していた。

結論：2023年の市町村の在宅医療介護連携推進事業における4つの場面ごとの目指すべき姿は約4割、目指すべき姿に対する目標の設定は約3割、評価指標の策定約2割の実施にとどまり、人口規模が小さいほどその実施割合が低くなる傾向があった。これら取り組みを推進するような具体例やわかりやすいガイドラインの提示や、小規模市町村を支援する広域的な取り組みが必要であることが確認された。地域住民による家族の在宅療養や看取りに対する意向や在宅療養への不安の状況を把握することは、医療・介護レセプトデータによる実績に加えて、「住民の視点」で事業を実施していくことにつながるため、これら項目を含めた地域住民を対象とした調査を定期的の実施していくことも必要と考えられた。

A. 研究目的

社会保障審議会介護保険部会（2022）では、地域の実情に応じ、在宅医療・介護連携推進事業の取組の充実を図りつつ、PDCAサイクルに沿って運用することが重要であることが指摘されている。

しかし当該事業の令和 4 年度の実態調査（株式会社富士通総研 2023）を分析した結果、人口規模によって事業実施やデータ活用に差があることが明らかになった。

今年度は、令和 5 年度の調査データを活用した二次分析を通じて 4 つの場面ごとの取り組み状況の把握を行った。

また、一般市民を対象とした在宅医療にかかわる意識調査を実施・分析し、当該事業のアウトカム把握のための住民意識調査項目の検討を行った。

B. 研究方法

1) 在宅医療・介護連携推進事業の実態調査データの二次分析

令和 5 年度在宅医療・介護連携推進支援事業で収集された市町村調査データ（回収数 1,714）を用いて二次分析を行った。分析対象項目は、4 つの場面ごとの取り組みの有無、目指すべき姿の設定、目標設定、指標の策定、取り組んでいない理由、4 つの場面以外の取組み、とし、これら項目について人口規模（人口の値を用いた 5 分位）ごとに集計を行った。

人口規模の区分（以下、本報告書では人口区分と略す。）については、令和元年（2019）人口動態統計（確定数）の記述統計を実施し、人口 5 分位で区切った値をもとにし、表 1 のように端数の調整を行った。

この人口区分変数を用いて、以下の 5 つの設問について、実施や活用の割合（以下の変数における 1 の回答割合）を算出し、人口規模ごとの差異があるか確認した。

（4 つの場面について）

問 4「日常の療養支援」について取り組んでいますか。

取り組んでいる 1、取り組んでいない 0
問 4-1「日常の療養支援」においてめざすべき姿は設定していますか。

設定している 1、設定していない 0
問 4-3 めざすべき姿の実現に向け、目標を設定していますか。

設定している 1、設定していない 0
問 4-4 評価指標は策定していますか。

策定している 1、策定していない 0

問 5「入退院支援」について取り組んでいますか。

取り組んでいる 1、取り組んでいない 0
問 5-1「入退院支援」においてめざすべき姿は設定していますか。

設定している 1、設定していない 0
問 5-3 めざすべき姿の実現に向け、目標を設定していますか。

設定している 1、設定していない 0
問 5-4 評価指標は策定していますか。

策定している 1、策定していない 0

問 6「急変時の対応」について取り組んでいますか。

取り組んでいる 1、取り組んでいない 0
問 6-1「急変時の対応」においてめざすべき姿は設定していますか。

設定している 1、設定していない 0
問 6-3 めざすべき姿の実現に向け、目標を設定していますか。

設定している 1、設定していない 0
問 6-4 評価指標は策定していますか。

策定している 1、策定していない 0

問 7「看取り」について取り組んでいますか。

取り組んでいる 1、取り組んでいない 0
問 7-1「看取り」においてめざすべき姿は設定していますか。

設定している 1、設定していない 0
問 7-3 めざすべき姿の実現に向け、目標を設定していますか。

設定している 1、設定していない 0
問 7-4 評価指標は策定していますか。

策定している 1、策定していない 0

（4 つの場面に取り組んでいない理由について）

日常の療養支援 問 4-7、入退院支援 問 5-7、急変時の対応 問 6-7、看取り 問 7-7

- ・現状把握ができていない
- ・課題抽出ができていない

- ・課題抽出は行っているがどのように取り組めばよいか分からない
- ・医療に係る専門職等（地域の関係団体等含む）の協力が得られない
- ・介護に係る専門職等（地域の関係団体等含む）の協力が得られない
- ・検討の必要性が分からない
- ・その他

該当 1、非該当 0

（4つの場面以外の取組み）

問 8「認知症に係る対応」について実施していますか。

実施している 1、実施していない 0

問 9「感染時に係る対応」について実施していますか。

実施している 1、実施していない 0

問 10「災害に係る対応」について実施していますか。

実施している 1、実施していない 0

2) 在宅医療・介護連携推進事業のモニタリングに活用できる住民意識調査項目の検討

在宅医療にかかわる意識調査については、インターネット調査会社の登録モニターを用いて、性別／年齢区分ごとに偏りのないように割付を行い（性年齢階級別均等割り付け）、調査を実施した（回収数 1,240 例）。

先行研究より設定した在宅医療に対する 4つの場面にかかわる意識 15 項目（表 2）について記述統計を行い、回答傾向を把握した。

また、地域住民の家族の在宅療養と看取りに対する意向（1 強く反対、2 反対、3 どちらかと言えば反対を反対群、4 どちらかと言えば賛成、5 賛成、6 強く賛成を賛成群）と自身の在宅療養と退院後の生活に対する不安（1 全く不安はない、2 不安はない、3 どちらかと言えば不安はない、を不安なし群、4 どちらかと言えば不安、5 不安、6 非常に不安、を不安群）を従属変数とし、15 問のうち 6 件法で意向を把握した 10 項目の設問について T 検定を実施し、意向や不安と各設問がどのように関連しているか検討を行った。

さらに、アドバンス・ケア・プランニン

グ（ACP）に着目し、一般の地域住民における ACP の認知度や実施経験、実施したきっかけ等について調査した。

（倫理面への配慮）

研究の実施に際しては、国立保健医療科学院の研究倫理審査委員会の承認を得て実施した。（NIPH-IBRA#12407）

C. 研究結果

1) 在宅医療・介護連携推進事業の実態調査データの二次分析

4つの場面ごとの取り組みは、入退院支援 82.3%。日常の療養支援 73.2%、急変時の対応 52.3%、看取り 69.0%であった。4つの場面ごとの目指すべき姿の設定は 48.8%～43.1%、目標設定は 33.3%～31.7%、評価指標の策定は 22.1%～17.7%であった。

また、在宅医療の 4つの場面ごとの実施できていない場合の理由のうちで多かった現状把握と課題抽出をあげる割合は人口規模が大きくなるほど高まっていた（表 3）。

取り組んでいない理由について、4つの場面（日常の療養支援、入退院支援、急変時の対応、看取り）ごとに見てみると、いずれも「現状把握ができていない」が最も高い理由（59.1%～67.0%）であり、次いで「課題抽出ができていない」が 57.8%～61.8%であった（表 4）。

医療計画に合わせて、在宅医療・介護連携推進事業においても 4つの場面に加えて実施すべきとされた認知症・感染症・災害対応の 3つの取り組みについては、認知症は 63.8%であるが、感染症 30.6%、災害対応 28.9%にとどまっていた（表 5）。

2) 在宅医療・介護連携推進事業のモニタリングに活用できる住民意識調査項目の検討

先行研究をもとに在宅医療「4つの場面」にかかわる 15 項目の設問を設定し意識調査を実施した結果を表 6・7 に示す。

地域住民の在宅療養や看取りに対する意向間の関連について、家族の在宅療養について賛成である群のほうが、家族への賛成の意向が強く、在宅療養や退院後の生活

に対する不安が小さい傾向が示された。

また、在宅療養や退院後の生活に対する不安の有無別に、他の項目の状況を見たところ、自身の在宅療養や退院後の生活への不安がある群の方が、家族の在宅療養への不安もまた大きく、在宅療養へのサポートの必要性を強く認識していた（表8）。

ACPの認知度に関しては、「知っている」と回答した者が全体の4.6%であったものの、ACPの実施経験ありと答えた者の割合は4割程度であった。また、実施経験者のうち、ACPを実施したきっかけは「家族や友人などの病気や死」と答えた者の割合が最も高かった（表9）。

D. 考察

1) 人口規模別に把握した4つの場面ごとの取り組み状況からの示唆

全国市町村における在宅医療の4つの場面ごとの取り組みは、令和5年度時点で100%に達成していないため、社会保障審議会介護保険部会の提言にあるように、今後も4場面ごとの取り組みが推進できるような市町村への広域的な支援が必要ながことが再確認された。

取り組みができていない市町村の多くは、現状把握や課題抽出ができていないとされていたことから、これらができるような全国的なデータベースの整備やその活用方法の普及が急務であることも確認された。

4つの場面に加えて実施すべきとされた認知症・感染症・災害対応の3つの取り組みについては、感染症・災害対応の実施率が低く、人口規模ごとに実施傾向に大きな差が見られないことから、後者の2つについては、今後の取り組み方策についての方法論の普及が求められる。

2) 「住民の視点」での事業アウトカムを把握する項目の検討

在宅療養に対する意見として、賛成（強く賛成、賛成、どちらかといえば賛成）62.3%、反対（強く反対、反対、どちらかといえば反対）37.7%と示された。

また、家族を看取ることに対する意向についても、看取るつもりである（家族などに希望している人がおり、看取るつもりで

ある、家族などは望んでいないが、家族として看取りたい、（意思確認はできていないが）家族などが希望するなら、看取るつもりである、（意思確認はできていないが）家族などが希望しなくても、家族として看取るつもりである）57.7%、看取らない、看取れない（家族などに希望している人がいるが、看取れないと思う、家族などは望んでいないので、看取らないと思う、（意思確認はできていないが）家族などが希望しても、看取れないと思う、（意思確認はできていないが）家族などが希望しない場合、看取らないと思う）39.1%と示され、今回実施したアンケートからも、在宅療養や看取りに対しての意向がさまざまであることが明らかになった。

また、不安に対する項目としては、「あなたが訪問診療や往診などを活用し在宅療養をする場合、不安を感じますか（感じましたか）？」が、不安ではなかった（全く不安はなかった、不安はなかった、どちらかといえば不安はなかった）34.1%、不安（非常に不安だった、不安だった、どちらかといえば不安だった）65.9%、「退院時に退院後の生活を想像し、不安に感じましたか。」が、不安ではなかった（全く不安はなかった、不安はなかった、どちらかといえば不安はなかった）66.4%、不安（非常に不安だった、不安だった、どちらかといえば不安だった）33.6%と示され、在宅療養や退院後の生活に不安に思っている地域住民が一定程度いる状況が確認されたこれらの不安について在宅療養に対する不安に対し、退院後の不安が少なかった傾向から、在宅療養への将来的な不安があったとしても、入院歴のある住民は、在宅療養を支える体制や入退院支援などによって、不安が軽減される可能性が示唆された。ただし、これら不安に対する意識は、在宅の療養体制や、連携状況に大きくかかることから、地域住民の意識調査を行い、その解釈を行う際には、これらの状況を合わせて確認する必要がある。

これらのことから、地域ごとに本研究課題で検討している医療・介護レセプトデータによる実績値に加え、こうした地域住民の意向を把握したうえで、在宅医療の4場面ごとの在宅医療・介護連携推進事業の

取り組み方策を検討していく必要性が示唆された。

また、地域住民の家族の在宅療養と看取りに対する意向と在宅療養と退院後の生活に対する不安が関連しているかについては、

在宅療養と看取りに対する意向、在宅療養に対する不安と入院経験のある者の退院後の不安、そして、これら不安の有無と家族の在宅療養や看取りに対する意向に関連性がみられた。

在宅療養や看取りに対する意向は、在宅医療・介護の提供体制やサービス利用に係る連携状況によって変化すると考えられるが、今回の分析からは在宅療養や、住民の意向や不安をモニタリングすることで、事業実施が地域住民の在宅療養や看取りへの意識への働きかけられているかという一つの中間的アウトカムとして活用できる可能性が示されたものと考えられた。

E. 結論

本分担研究においては、令和5年度の在宅医療・介護連携推進事業の実態調査データの二次分析を実施し、4つの場面（および新たな3つの取組み）ごとの実施状況や、取り組んでいない場合の理由について人口規模別の状況の把握を行った。

2023年の市町村の在宅医療・介護連携推進事業における4つの場面ごとの目指すべき姿は約4割、目指すべき姿に対する目標の設定は約3割、評価指標の策定約2割の実施にとどまり、人口規模が小さいほどその実施割合が低くなる傾向があった。これら取り組みを推進するような具体例やわかりやすいガイドラインの提示や、小規模市町村を支援する広域的な取り組みが必要であることが確認された。

また、地域住民による家族の在宅療養や看取りに対する意向や在宅療養への不安の状況を把握することは、医療・介護レセプトデータによる実績に加えて、「住民の視点」で事業を実施していくことにつながるため、これら項目を含めた地域住民への調査を介護保険事業計画の策定のサイクルや市町村ごとの事業のモニタリングの

実施頻度に合わせて、定期的の実施していくことも必要と考えられた。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

表1 本研究で用いた人口区分の定義

五分位	人口	市町村数	人口	市町村数
グループ1	159 - 6,479	340	6500未満	- 340
グループ2	6,513 - 15,608	340	6500以上	- 15,000未満 314
グループ3	15,639 - 34,497	348	15,000以上	- 35,000未満 379
グループ4	34,526 - 80,012	348	35,000以上	- 80,000未満 342
グループ5	80,212 - 3,648,264	348	80,000以上	- 349

表2 先行研究より設定した在宅医療に対する4つの場面にかかわる意識15項目

1	次のサービスがどのようなサービスか知っていますか(訪問診療、往診、訪問歯科診療)。
2	次のサービスを利用した経験がありますか(訪問診療、往診、訪問歯科診療)。
3	将来あなたが自力での通院が困難になった場合に、あなたは次のことを希望しますか(希望していましたか)。
4	家族が在宅療養することを希望した場合、あなたはどう思いますか。
5	将来、あなたや家族などが訪問診療や往診などを活用し在宅療養をする場合、不安を感じますか(感じましたか)？
6	あなたが在宅療養をする場合に、次のサポートが必要だと思いますか(思いましたか)？
7	あなたが自宅で急に具合が悪くなったとき、どうしますか。
8	あなたは直近の入院(過去3年間)において退院時に関係者間で、あなたに関する情報が引き継がれたと思いますか。
9	あなたは直近の入院(過去3年間)において退院時に退院後の生活を想像し、不安に感じましたか。
10	あなたに関わる人が過去3年以内に在宅での療養をしていたことがありますか。
11	家族など身近な人を自宅で看取ったことがありますか。
12	家族などを自宅で看取ることについて、あなたの考えに最も近いものを選択してください。(ひとつだけ)
13	あなた自身の人生の最期を考える際に、次のことは重要だと思いますか。
14	あなたは次の場所で人生の最期を迎えることを希望しますか
15	あなた自身が介護が必要になった場合、あなたはどこでどのような介護を受けたいですか？

表3 「4つの場面」の実施有無や目指すべき姿・目標の設定、評価指標の策定状況

		人口5区分				
		gr1 全体 (-6499)	gr2 (6500-14999)	gr3 (15000-34999)	gr4 (35000-79999)	gr5 (80000-)
		1741	365	324	367	341
「日常の療養支援」	(1) 実施	73.2%	63.3%	66.0%	72.8%	77.7%
	(2) 目指すべき姿の設定	46.5%	32.3%	40.1%	49.6%	54.9%
	(3) 目標設定	31.7%	16.7%	26.5%	31.8%	38.0%
	(4) 評価指標の策定	20.6%	10.8%	15.2%	19.5%	25.1%
「入退院支援」	(1) 実施	82.3%	75.6%	82.1%	79.3%	86.8%
	(2) 目指すべき姿の設定	48.8%	33.6%	42.8%	52.5%	58.9%
	(3) 目標設定	33.2%	21.5%	29.9%	34.1%	38.7%
	(4) 評価指標の策定	20.9%	11.3%	16.0%	20.7%	25.2%
「急変時の対応」	(1) 実施	54.8%	49.0%	48.1%	50.5%	58.7%
	(2) 目指すべき姿の設定	43.1%	22.6%	39.4%	47.2%	54.3%
	(3) 目標設定	32.3%	17.8%	32.5%	34.4%	38.8%
	(4) 評価指標の策定	17.7%	8.1%	14.4%	21.2%	21.8%
「看取り」	(1) 実施	69.0%	54.5%	59.3%	68.0%	77.7%
	(2) 目指すべき姿の設定	46.6%	30.3%	41.1%	47.9%	54.3%
	(3) 目標設定	33.3%	18.9%	30.1%	32.8%	38.8%
	(4) 評価指標の策定	22.1%	9.2%	15.3%	20.7%	26.6%

表4 「4つの場面」の取り組みを実施していない場合の理由

		人口5区分					
		全体	gr1 (-6499)	gr2 (6500- 14999)	gr3 (15000- 34999)	gr4 (35000- 79999)	gr5 (80000-)
「日常の療養支援」	N	466	134	110	100	76	46
	現状把握ができていない	67.0%	54.5%	60.9%	78.0%	73.7%	82.6%
	課題抽出ができていない	59.2%	44.0%	59.1%	74.0%	59.2%	71.7%
	課題抽出は行っているがどのように取り組めばよいかわからない	15.9%	18.7%	20.9%	12.0%	14.5%	6.5%
	医療に係る専門職等（地域の関係団体等含む）の協力が得られない	3.9%	5.2%	4.5%	3.0%	2.6%	2.2%
	介護に係る専門職等（地域の関係団体等含む）の協力が得られない	1.1%	0.7%	0.9%	1.0%	1.3%	2.2%
	検討の必要性がわからない	7.1%	15.7%	5.5%	2.0%	3.9%	2.2%
	その他	13.7%	18.7%	17.3%	8.0%	9.2%	10.9%
「入退院支援」	N	308	89	58	76	45	40
	現状把握ができていない	59.1%	39.3%	65.5%	67.1%	68.9%	67.5%
	課題抽出ができていない	57.8%	41.6%	53.4%	71.1%	62.2%	70.0%
	課題抽出は行っているがどのように取り組めばよいかわからない	17.5%	21.3%	19.0%	13.2%	22.2%	10.0%
	医療に係る専門職等（地域の関係団体等含む）の協力が得られない	7.1%	10.1%	6.9%	5.3%	4.4%	7.5%
	介護に係る専門職等（地域の関係団体等含む）の協力が得られない	1.0%	1.1%	0.0%	1.3%	0.0%	2.5%
	検討の必要性がわからない	7.8%	15.7%	8.6%	1.3%	4.4%	5.0%
	その他	17.2%	21.3%	17.2%	13.2%	13.3%	20.0%
「急変時の対応」	N	786	186	168	182	141	109
	現状把握ができていない	69.8%	57.5%	69.6%	71.4%	74.5%	82.6%
	課題抽出ができていない	61.8%	45.7%	60.7%	70.3%	70.9%	65.1%
	課題抽出は行っているがどのように取り組めばよいかわからない	13.2%	14.0%	14.9%	13.2%	14.9%	7.3%
	医療に係る専門職等（地域の関係団体等含む）の協力が得られない	4.3%	5.4%	3.6%	5.5%	5.0%	0.9%
	介護に係る専門職等（地域の関係団体等含む）の協力が得られない	0.8%	1.1%	0.6%	1.1%	0.0%	0.9%
	検討の必要性がわからない	6.0%	10.8%	4.2%	4.9%	4.3%	4.6%
	その他	11.8%	13.4%	10.7%	11.0%	9.9%	14.7%
「看取り」	N	540	166	132	118	76	48
	現状把握ができていない	64.6%	44.6%	72.0%	72.9%	75.0%	77.1%
	課題抽出ができていない	59.6%	47.6%	58.3%	70.3%	65.8%	68.8%
	課題抽出は行っているがどのように取り組めばよいかわからない	13.5%	17.5%	12.1%	11.0%	15.8%	6.3%
	医療に係る専門職等（地域の関係団体等含む）の協力が得られない	6.9%	11.4%	6.1%	6.8%	1.3%	2.1%
	介護に係る専門職等（地域の関係団体等含む）の協力が得られない	1.7%	1.8%	2.3%	1.7%	0.0%	2.1%
	検討の必要性がわからない	5.4%	10.8%	3.0%	4.2%	1.3%	2.1%
	その他	13.9%	18.7%	13.6%	9.3%	9.2%	16.7%

表5 「4つの場面」以外の取り組み（認知症に係る対応、感染症に係る対応、災害に係る対応）の実施状況

		人口5区分					
		全体	gr1 (-6499)	gr2 (6500- 14999)	gr3 (15000- 34999)	gr4 (35000- 79999)	gr5 (80000-)
		1741	365	324	367	341	342
「認知症に係る対応」	実施している	63.8%	61.4%	61.1%	63.1%	67.4%	65.8%
	実施していない	36.2%	38.6%	38.9%	36.9%	32.6%	34.2%
「感染時に係る対応」	実施している	30.6%	30.7%	29.3%	28.3%	31.7%	33.0%
	実施していない	69.4%	69.3%	70.7%	71.7%	68.3%	67.0%
「災害に係る対応」	実施している	28.9%	33.0%	28.4%	27.7%	27.3%	28.1%
	実施していない	71.1%	67.0%	71.6%	72.3%	72.7%	71.9%

表 6 「4 つの場面」にかかわる住民意識 15 項目の記述統計(その 1)

次のサービスがどのようなサービスか知っていますか(訪問診療、往診、訪問歯科診療)。				1	2	3	4	5	6	
全体				全く知らない	知らない	どちらかと言え ば知らない	どちらか と言え 知っている	知っている	よく知 っている	
1 訪問診療	(1240)	50	121	233	502	263	71			
		4.0	9.8	18.8	40.5	21.2	5.7			
2 往診	(1240)	37	76	160	524	358	85			
		3.0	6.1	12.9	42.3	28.9	6.9			
3 訪問歯科診療	(1240)	136	202	266	390	193	53			
		11.0	16.3	21.5	31.5	15.6	4.3			
2 次のサービスを利用した経験がありますか(訪問診療、往診、訪問歯科診療)。										
全体				1 いいえ	2 はい					
1 訪問診療	(1240)	1180	60	95.2	4.8					
2 往診	(1240)	1140	100	91.9	8.1					
3 訪問歯科診療	(1240)	1205	35	97.2	2.8					
3 将来あなたが自力での通院が困難になった場合に、あなたは次のことを希望しますか(希望していました)。										
全体				1 全く希望 しない	2 希望しな い	3 どちらか と言え ば希望し ない	4 どちらか と言え ば希望 する	5 希望する	6 非常に希 望する	
1 通院の利便性の高い地域に住み替える	(1240)	147	291	11.9	23.5	26.6	27.1	8.9	2.1	
		11.9	23.5	26.6	27.1	8.9	2.1			
2 訪問診療や往診などを活用し、在宅療養する	(1240)	6	12.7	6.6	12.7	19.8	44.3	13.1	3.5	
		0.5	10.3	5.4	10.3	16.9	36.3	11.3	2.8	
3 長期にわたって病院で療養する	(1240)	187	275	15.1	22.2	36.7	20.1	5.3	0.6	
		15.1	22.2	36.7	20.1	5.3	0.6			
4 医療対応が可能な介護施設で療養する	(1240)	111	190	9.0	15.3	27.3	36.9	9.4	2.1	
		9.0	15.3	27.3	36.9	9.4	2.1			
4 家族が在宅療養することを希望した場合、あなたはどう思いますか。										
全体				n (1240)	%					
1 強く反対		19	1.5							
2 反対		73	5.9							
3 どちらかと言えれば反対		376	30.3							
4 どちらかと言えれば賛成		582	46.9							
5 賛成		162	13.1							
6 強く賛成		28	2.3							
5 将来、あなたや家族などが訪問診療や往診などを活用し在宅療養をする場合、不安を感じますか(感じましたか)？										
全体				1 全く不安 はない	2 不安はな い	3 どちらか と言え ば不安は ない	4 どちらか と言え ば不安	5 不安	6 非常に不 安	7 該当なし
1 あなた自身	(1240)	48	119	3.9	9.6	19.8	33.1	19.7	11.6	2.3
		3.9	9.6	19.8	33.1	19.7	11.6	2.3		
2 あなたの祖父母	(1240)	59	60	4.8	4.8	9.6	15.0	10.7	4.8	50.2
		4.8	4.8	9.6	15.0	10.7	4.8	50.2		
3 あなたの両親	(1240)	57	75	4.6	6.0	12.3	21.2	15.5	9.1	31.2
		4.6	6.0	12.3	21.2	15.5	9.1	31.2		
4 あなたの配偶者	(1240)	55	97	4.4	7.8	14.6	26.9	15.6	8.3	22.3
		4.4	7.8	14.6	26.9	15.6	8.3	22.3		
5 あなたの子ども	(1240)	78	120	6.3	9.7	14.2	25.3	13.9	5.9	24.8
		6.3	9.7	14.2	25.3	13.9	5.9	24.8		
6 あなたが在宅療養をする場合に、次のサポートが必要だと思いますか(思いましたか)？										
全体				1 全くそう 思わない	2 そう思わ ない	3 どちらか と言え ばそう思 わない	4 どちらか と言え ばそう思 う	5 そう思 う	6 非常にそ う思 う	7 無回答
1 家族による通院のサポート	(1240)	59	91	4.8	7.3	14.2	45.0	21.5	7.2	0.0
		4.8	7.3	14.2	45.0	21.5	7.2	0.0		
2 家族による生活のサポート	(1240)	51	87	4.1	7.0	13.3	45.5	22.7	7.3	0.0
		4.1	7.0	13.3	45.5	22.7	7.3	0.0		
3 ヘルパーなどによる通院のサポート	(1240)	46	91	3.7	7.3	15.3	45.2	21.3	7.1	0.0
		3.7	7.3	15.3	45.2	21.3	7.1	0.0		
4 ヘルパーなどによる生活のサポート	(1240)	47	109	3.8	8.8	16.6	43.6	19.9	7.3	0.0
		3.8	8.8	16.6	43.6	19.9	7.3	0.0		
5 看護師による自宅訪問	(1240)	58	94	4.7	7.6	19.0	45.0	18.5	5.3	0.0
		4.7	7.6	19.0	45.0	18.5	5.3	0.0		
6 その他【 】	(1240)	201	111	16.2	9.0	17.9	21.2	6.3	2.5	26.9
		16.2	9.0	17.9	21.2	6.3	2.5	26.9		
7 あなたが自宅で急に具合が悪くなったとき、どうしますか。(例えば、持病があり急に苦しくなったなど体の異常を感じたとき)										
全体				1 全くそう 思わない	2 そう思わ ない	3 どちらか と言え ばそう思 わない	4 どちらか と言え ばそう思 う	5 そう思 う	6 非常にそ う思 う	7 無回答
1 往診を依頼する	(1240)	136	263	11.0	21.2	28.9	26.6	10.0	2.3	0.0
		11.0	21.2	28.9	26.6	10.0	2.3	0.0		
2 病院に電話する	(1240)	61	106	4.9	8.5	14.4	37.9	27.5	6.7	0.0
		4.9	8.5	14.4	37.9	27.5	6.7	0.0		
3 救急車を呼ぶ	(1240)	29	60	2.3	4.8	12.3	36.8	27.8	15.9	0.0
		2.3	4.8	12.3	36.8	27.8	15.9	0.0		
4 その他【 】	(1240)	227	109	18.3	8.8	17.3	18.2	6.8	1.9	28.7
		18.3	8.8	17.3	18.2	6.8	1.9	28.7		
8 あなたは直近の入院(過去3年間)において通院時に関係者間で、あなたに関する情報が引き継がれたと思いますか。										
全体				1 全くそう 思わない	2 そう思わ ない	3 どちらか と言え ばそう思 わない	4 どちらか と言え ばそう思 う	5 そう思 う	6 非常にそ う思 う	7 無回答
1 診療所の医師に対して、自身の病気やこれまでの治療についての引継ぎ	(411)	72	62	17.5	15.1	23.4	27.7	12.2	4.1	
		17.5	15.1	23.4	27.7	12.2	4.1			
2 ケアマネジャーなどの介護関係者に対して、食事や日常生活についての引継ぎ	(411)	108	67	26.3	16.3	27.7	21.7	6.6	1.5	
		26.3	16.3	27.7	21.7	6.6	1.5			
3 薬剤師に対して、自身の常備薬などの薬についての引継ぎ	(411)	99	80	24.1	19.5	24.8	21.9	8.3	1.5	
		24.1	19.5	24.8	21.9	8.3	1.5			
4 リハビリテーションの専門家に対して、リハビリや日常生活についての引継ぎ	(411)	107	77	26.0	18.7	25.3	23.6	5.4	1.0	
		26.0	18.7	25.3	23.6	5.4	1.0			
9 あなたは直近の入院(過去3年間)において通院時に通院後の生活を想像し、不安に感じましたか。										
全体				n (411)	%					
1 全く不安はなかった		71	17.3							
2 不安はなかった		89	21.7							
3 どちらかと言えれば不安はなかった		113	27.5							
4 どちらかと言えれば不安だった		98	23.8							
5 不安だった		27	6.6							
6 非常に不安だった		13	3.2							

表 7 「4 つの場面」にかかわる住民意識 15 項目の記述統計(その2)

10 あなたに関わる人が過去3年以内に入院・入所、あるいは在宅での療養をしていたことがありますか。

	全体	1 病院	2 介護施設 (施設入 所)	3 自宅(在 宅療養)	4 該当なし	
1 あなたの祖父母	(1240)	41 3.3	34 2.7	33 2.7	1147 92.5	0 0.0
2 あなたの両親	(1240)	226 18.2	109 8.8	98 7.9	885 71.4	0 0.0
3 あなたの配偶者	(1240)	92 7.4	7 0.6	26 2.1	1119 90.2	0 0.0
4 あなたの子ども	(1240)	29 2.3	3 0.2	10 0.8	1199 96.7	0 0.0
5 あなたの親族	(1240)	112 9.0	58 4.7	44 3.5	1066 86.0	0 0.0
6 あなたの友人	(1240)	70 5.6	15 1.2	23 1.9	1144 92.3	0 0.0
7 その他【 】	(1240)	12 1.0	5 0.4	5 0.4	885 71.4	335 27.0

11 家族など身近な人を自宅で看取ったことがありますか。

	n	%
全体	(1240)	
1 ない	1041	84.0
2 ある	199	16.0

12 家族などを自宅で看取ることについて、あなたの考えに最も近いものを選択してください。(ひとつだけ)

	n	%
全体	(1240)	
1 家族などに希望している人がおり、看取るつもりである	125	10.1
2 家族などに希望している人がいるが、看取れないと思う	45	3.6
3 家族などは望んでいないが、家族として看取りたい	96	7.7
4 家族などは望んでいないので、看取らないと思う	140	11.3
5 (意思確認はできていないが) 家族などが希望するなら、看取るつもりである	397	32.0
6 (意思確認はできていないが) 家族などが希望しても、看取れないと思う	119	9.6
7 (意思確認はできていないが) 家族などが希望しなくても、家族として看取るつもりである	98	7.9
8 (意思確認はできていないが) 家族などが希望しない場合、看取らないと思う	181	14.6
9 その他【 】	39	3.1

13 あなた自身の人生の最期を考える際に、次のことは重要だと思いますか。

	全体	1 全くそう 思わない	2 そう思わ ない	3 どちらか と言えば そう思わ ない	4 どちらか と言えば そう思う	5 そう思う	6 非常にそ う思う	
1 信頼できる医師、看護師、介護職員などにみてもらえること	(1240)	33 2.7	46 3.7	138 11.1	471 38.0	370 29.8	182 14.7	0 0.0
2 自分のなじみのある場所で過ごせること	(1240)	27 2.2	51 4.1	142 11.5	542 43.7	342 27.6	136 11.0	0 0.0
3 家族などとの十分な時間を過ごせること	(1240)	33 2.7	41 3.3	141 11.4	514 41.5	345 27.8	166 13.4	0 0.0
4 自分らしくいられること	(1240)	13 1.0	15 1.2	80 6.5	403 32.5	455 36.7	274 22.1	0 0.0
5 人間としての尊厳を保てること	(1240)	16 1.3	19 1.5	94 7.6	421 34.0	433 34.9	257 20.7	0 0.0
6 体や心の苦痛なく過ごせること	(1240)	13 1.0	12 1.0	67 5.4	340 27.4	439 35.4	369 29.8	0 0.0
7 家族などの負担にならないこと	(1240)	14 1.1	22 1.8	60 4.8	285 23.0	404 32.6	455 36.7	0 0.0
8 積極的な医療を続けられること	(1240)	49 4.0	100 8.1	287 23.1	478 38.5	240 19.4	86 6.9	0 0.0
9 経済的な負担が少ないこと	(1240)	12 1.0	29 2.3	77 6.2	340 27.4	402 32.4	380 30.6	0 0.0
10 その他【 】	(1240)	184 14.8	59 4.8	150 12.1	252 20.3	112 9.0	82 6.6	401 32.3

14 あなたは次の場所で人生の最期を迎えることを希望しますか。

	全体	1 全くそう 思わない	2 そう思わ ない	3 どちらか と言えば そう思わ ない	4 どちらか と言えば そう思う	5 そう思う	6 非常にそ う思う	
1 病院	(1240)	99 8.0	130 10.5	325 26.2	423 34.1	190 15.3	73 5.9	0 0.0
2 介護施設	(1240)	155 12.5	191 15.4	404 32.6	337 27.2	133 10.7	20 1.6	0 0.0
3 自宅	(1240)	82 6.6	91 7.3	263 21.2	473 38.1	223 18.0	108 8.7	0 0.0
4 その他【 】	(1240)	247 19.9	89 7.2	220 17.7	186 15.0	57 4.6	35 2.8	406 32.7

15 あなた自身が介護が必要になった場合、あなたはどこでどのような介護をうけたいですか？

	n	%
全体	(1230)	
1 自宅で家族中心に介護を受けたい	109	8.9
2 自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい	187	15.2
3 家族に依存せずに生活ができるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい	398	32.4
4 有料老人ホームやケア付き高齢者住宅に住み替えて介護を受けたい	136	11.1
5 特別養護老人ホームなどの施設で介護を受けたい	161	13.1
6 医療機関に入院して介護を受けたい	215	17.5
7 その他【 】	24	2.0

表 8 意識調査の設問 10 項目と、家族の在宅療養と看取り意向、自身の在宅療養や退院後の生活への不安の関連

		家族の在宅療養への意向				家族の看取りへの意向				自身の在宅療養に対する不安				自身の退院後の生活への不安																			
		賛成(a)		反対(b)		平均値の差		P値		看取れない り(a) (N=716)		ない(b) (N=485)		平均値の差		P値		不安ではない(a) (N=413)		不安(b) (N=779)		平均値の差		P値		不安ではない(a) (N=273)		不安(b) (N=138)		平均値の差		P値	
		(N=772)	(N=468)	(a)-(b)								(a)-(b)																					
1 次のサービスがどのようなサービスか知っていますか 1全く知らない～6よく知っている	訪問診療	3.92	3.66	0.26	0.00	3.88	3.71	0.17	0.01	3.84	3.83	0.01	0.95	3.73	3.71	0.02	0.88																
	住診	4.18	3.93	0.25	0.00	4.13	4	0.13	0.05	4.12	4.09	0.03	0.67	3.97	3.99	-0.02	0.88																
	訪問歯科診療	3.47	3.22	0.25	0.00	3.41	3.31	0.1	0.19	3.45	3.34	0.11	0.20	3.33	3.43	-0.1	0.47																
3 将来あなたが自力での通院が困難になった場合に、あなたは次のことを希望しますか。 1全く希望しない～6非常に希望する	通院の利便性の高い地域に住み替える	3.03	3.06	-0.03	0.65	3	3.09	-0.09	0.22	2.92	3.12	0.2	0.01	2.95	3.2	-0.25	0.05																
	訪問診療や住診などを活用し、在宅療養する	3.72	3.27	0.45	0.00	3.66	3.4	0.26	0.00	3.48	3.61	-0.13	0.07	3.26	3.7	-0.44	0.00																
	長期にわたって病院で療養する	2.78	2.85	-0.07	0.27	2.78	2.84	-0.06	0.36	2.69	2.87	-0.18	0.01	2.74	3.01	-0.27	0.03																
	医療対応が可能な介護施設で療養する	3.24	3.36	-0.12	0.09	3.28	3.3	-0.02	0.84	3.11	3.39	-0.28	0.00	3.11	3.43	-0.32	0.01																
4 家族が在宅療養することを希望した場合、あなたはどう思いますか。1強く反対～6強く賛成	-	-	-	-	-	3.88	3.42	0.46	0.00	4	3.57	0.43	0.00	3.69	3.67	0.02	0.88																
5 将来、あなたや家族などが訪問診療や住診などを活用し在宅療養をする場合、不安を感じますか？ 1全く不安はない～6非常に不安	あなた自身	3.68	4.32	-0.64	0.00	3.8	4.14	-0.34	0.00	-	-	-	-	3.79	4.31	-0.52	0.00																
	あなたの祖父母	5.28	5.53	-0.25	0.02	5.29	5.52	-0.23	0.04	4.58	5.73	-1.15	0.00	5	5.35	-0.35	0.06																
	あなたの両親	4.73	5.16	-0.43	0.00	4.74	5.13	-0.39	0.00	3.97	5.31	-1.34	0.00	4.68	5.09	-0.41	0.02																
	あなたの配偶者	4.36	4.88	-0.52	0.00	4.39	4.79	-0.4	0.00	3.59	4.98	-1.39	0.00	4.23	4.9	-0.67	0.00																
	あなたの子ども	4.32	4.73	-0.41	0.00	4.36	4.64	-0.28	0.01	3.53	4.88	-1.35	0.00	4.19	4.86	-0.67	0.00																
6 あなたが在宅療養をする場合に、次のサポートが必要だと思いますか？ 1全くそう思わない～6強くそう思う	家族による通院のサポート	3.96	3.87	0.09	0.22	4.03	3.83	0.2	0.00	3.63	4.1	-0.47	0.00	3.9	4.22	-0.32	0.01																
	家族による生活のサポート	4.02	3.91	0.11	0.11	4.08	3.88	0.2	0.00	3.7	4.14	-0.44	0.00	3.9	4.2	-0.3	0.01																
	ヘルパーなどによる通院のサポート	3.94	3.96	-0.02	0.78	3.95	3.94	0.01	0.90	3.69	4.09	-0.4	0.00	3.84	4.09	-0.25	0.03																
	ヘルパーなどによる生活のサポート	3.88	3.91	-0.03	0.69	3.89	3.91	-0.02	0.76	3.64	4.04	-0.4	0.00	3.7	4.11	-0.41	0.00																
	看護師による自宅訪問	3.8	3.83	-0.03	0.57	3.83	3.79	0.04	0.58	3.55	3.96	-0.41	0.00	3.66	3.98	-0.32	0.01																
	その他【 】	3.02	2.96	0.06	0.50	2.99	3.02	-0.03	0.72	2.78	3.12	-0.34	0.00	2.92	3.36	-0.44	0.01																
7 あなたが自宅で急に具合が悪くなったとき、どうしますか。 1全くそう思わない～6強くそう思う	住診を依頼する	3.21	2.94	0.27	0.00	3.23	2.92	0.31	0.00	3.11	3.11	0	0.97	3.07	3.21	-0.14	0.28																
	病院に電話する	3.97	3.91	0.06	0.43	4.06	3.78	0.28	0.00	3.77	4.06	-0.29	0.00	3.98	4.22	-0.24	0.04																
	救急車を呼ぶ	4.3	4.32	-0.02	0.77	4.38	4.22	0.16	0.02	4.12	4.39	-0.27	0.00	4.22	4.38	-0.16	0.17																
	その他【 】	2.92	2.85	0.07	0.50	2.96	2.8	0.16	0.12	2.77	2.98	-0.21	0.04	2.87	3.38	-0.51	0.00																
8 あなたは直近の入院において退院時に関係者間で、あなたに関する情報が引き継がれたと思いますか。 1全くそう思わない～6強くそう思う	診療所の医師に対して、自身の病状やこれまでの治療についての引継ぎ	3.12	3.18	-0.06	0.64	3.21	3.09	0.12	0.43	3.05	3.2	-0.15	0.29	2.95	3.54	-0.59	0.00																
	ケアマネジャーなどの介護関係者に対して、食事や日常生活についての引継ぎ	2.76	2.62	0.14	0.28	2.75	2.66	0.09	0.49	2.66	2.73	-0.07	0.61	2.52	3.07	-0.55	0.00																
	薬剤師に対して、自身の常備薬などの薬についての引継ぎ	2.85	2.61	0.24	0.08	2.79	2.7	0.09	0.53	2.7	2.78	-0.08	0.57	2.58	3.1	-0.52	0.00																
	リハビリテーションの専門家に対して、リハビリや日常生活についての引継ぎ	2.73	2.57	0.16	0.21	2.69	2.64	0.05	0.70	2.58	2.72	-0.14	0.32	2.44	3.1	-0.66	0.00																
9 あなたは直近の入院において退院時に退院後の生活を想像し、不安に感じましたか。1全く不安はない～6非常に不安	-	2.83	3.01	-0.18	0.19	2.88	2.99	-0.11	0.43	2.6	3.08	-0.48	0.00	-	-	-	-																
13 あなた自身の人生の最期を考える際に、次のことは重要だと思いますか。 1全くそう思わない～6強くそう思う	信頼できる医師、看護師、介護職員などにみてもらえること	4.38	4.24	0.14	0.03	4.42	4.24	0.18	0.01	4.13	4.43	-0.3	0.00	4.14	4.38	-0.24	0.06																
	自分のなじみのある場所で過ごせること	4.34	4.06	0.28	0.00	4.4	4.02	0.38	0.00	4.21	4.25	-0.04	0.54	4.2	4.29	-0.09	0.43																
	家族などとの十分な時間を過ごせること	4.42	4.07	0.35	0.00	4.49	4.04	0.45	0.00	4.24	4.32	-0.08	0.23	4.25	4.24	0.01	0.96																
	自分らしくいられること	4.74	4.6	0.14	0.02	4.75	4.62	0.13	0.03	4.6	4.74	-0.14	0.03	4.58	4.58	0	0.98																
	人間としての尊厳を保てること	4.67	4.54	0.13	0.04	4.66	4.57	0.09	0.15	4.5	4.69	-0.19	0.00	4.47	4.5	-0.03	0.82																
	体や心の苦痛なく過ごせること	4.86	4.81	0.05	0.39	4.85	4.86	-0.01	0.90	4.68	4.93	-0.25	0.00	4.65	4.73	-0.08	0.49																
	家族などの負担にならないこと	4.91	4.99	-0.08	0.20	4.92	4.99	-0.07	0.24	4.69	5.08	-0.39	0.00	4.8	4.81	-0.01	0.91																
	積極的な医療を続けられること	3.89	3.7	0.19	0.01	3.92	3.69	0.23	0.00	3.79	3.84	-0.05	0.49	3.87	3.99	-0.12	0.30																
	経済的な負担が少ないこと	4.78	4.83	-0.05	0.43	4.75	4.86	-0.11	0.09	4.55	4.92	-0.37	0.00	4.62	4.68	-0.06	0.62																
	その他【 】	3.39	3.29	0.1	0.39	3.36	3.36	0	1.00	3.29	3.38	-0.09	0.42	3.34	3.54	-0.2	0.27																
14 あなたは次の場所で人生の最期を迎えることを希望しますか。 1全くそう思わない～6強くそう思う	病院	3.42	3.78	-0.36	0.00	3.41	3.81	-0.4	0.00	3.34	3.69	-0.35	0.00	3.45	3.63	-0.18	0.17																
	介護施設	3.02	3.32	-0.3	0.00	3.02	3.31	-0.29	0.00	2.97	3.23	-0.26	0.00	3.09	3.28	-0.19	0.14																
	自宅	4.08	3.33	0.75	0.00	4.13	3.31	0.82	0.00	4	3.69	0.31	0.00	3.81	3.81	0	0.99																
	その他【 】	2.84	2.7	0.14	0.16	2.84	2.74	0.1	0.39	2.7	2.84	-0.14	0.19	2.71	3.19	-0.48	0.01																

表 9 ACP に関する認知度、実施経験、実施したきっかけ

1 あなたは「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」について、知っていますか？
ACPは「人生会議」とも呼ばれているもので、あなたや家族などの人生の最終段階を含む今後の医療・療養について、家族や医療・介護関係者などとあらかじめ話し合う自発的なプロセスのことです。

	n	%
全体	(1240)	
1 全く知らない	762	61.5
2 知らない	331	26.7
3 どちらかと言えば知らない	90	7.3
4 どちらかと言えば知っている	38	3.1
5 知っている	12	1.0
6 よく知っている	7	0.6

2 あなたや家族（祖父母や両親、配偶者、子ども）の死に近い場合に受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養について、次の方と話し合ったことはありますか。

		1	2	3	4	5	6	
	全体	全くない	ない	どちらか と言え ばない	どちらか と言え ばある	ある	非常にあ る	無回答
1 家族	(1240)	337 27.2	295 23.8	195 15.7	246 19.8	131 10.6	36 2.9	0 0.0
2 親戚（2親等以内）	(1240)	465 37.5	367 29.6	205 16.5	123 9.9	67 5.4	13 1.0	0 0.0
3 友人・知人	(1240)	499 40.2	360 29.0	181 14.6	149 12.0	42 3.4	9 0.7	0 0.0
4 かかりつけ医など医療従事者	(1240)	586 47.3	369 29.8	171 13.8	81 6.5	25 2.0	8 0.6	0 0.0
5 介護関係者	(1240)	692 55.8	348 28.1	134 10.8	55 4.4	8 0.6	3 0.2	0 0.0
6 法律関係者	(1240)	719 58.0	348 28.1	121 9.8	44 3.5	6 0.5	2 0.2	0 0.0
7 その他【 】	(1240)	617 49.8	287 23.1	87 7.0	25 2.0	7 0.6	2 0.2	215 17.3
8 家族	(1240)	388 31.3	287 23.1	186 15.0	213 17.2	142 11.5	24 1.9	0 0.0
9 親戚（2親等以内）	(1240)	507 40.9	350 28.2	172 13.9	130 10.5	70 5.6	11 0.9	0 0.0
10 友人・知人	(1240)	580 46.8	353 28.5	167 13.5	102 8.2	31 2.5	7 0.6	0 0.0
11 かかりつけ医など医療従事者	(1240)	624 50.3	359 29.0	140 11.3	75 6.0	34 2.7	8 0.6	0 0.0
12 介護関係者	(1240)	672 54.2	345 27.8	129 10.4	63 5.1	26 2.1	5 0.4	0 0.0
13 法律関係者	(1240)	709 57.2	342 27.6	130 10.5	43 3.5	13 1.0	3 0.2	0 0.0
14 その他【 】	(1240)	610 49.2	276 22.3	99 8.0	23 1.9	2 0.2	3 0.2	227 18.3

3 前問で、死に近い場合に受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養について話し合ったことがあると回答した方にお尋ねします。
どのようなことがきっかけで話し合いましたか。（いくつでも）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	全体	誕生日	結婚	妊娠・出 産（配偶 者の場合 も含む）	あなたの 病気	家族や友 人などの 病気や死	退職	還暦	人生の最 終段階に ついてメ ディア （新聞・ テレビ・ ラジオな ど）から 情報を得 た時	医療や介 護関係者 による説 明や相談 の機会を 得た時	その他【 】
1 あなた自身について	(495)	30 6.1	8 1.6	5 1.0	108 21.8	220 44.4	22 4.4	25 5.1	146 29.5	49 9.9	22 4.4
2 家族（祖父母や両親、配偶者、子ども）について	(449)	22 4.9	6 1.3	2 0.4	62 13.8	225 50.1	9 2.0	20 4.5	117 26.1	55 12.2	17 3.8